

(2019. 9. 1 第147号)



医療法人 社団 東峰会
関西青少年サナトリウム
〒651-2403

神戸市西区岩岡町西脇 838 番地
TEL 078-967-1202(代)

FAX 078-967-3626

HP アドレス <http://www.tohokai.jp/>

E-アドレス office@tohokai.jp

広報誌へのご意見・ご希望を上記
E-メール・FAX でお寄せ下さい。

関西青少年サナトリウム



ひろば

敷居の低い 癒しの場としての病院をめざして

「ホーム 一人ひとり」オープン!

8月5日(月)、これまで開設に向けて準備を進めてきた「ホーム 一人ひとり」がオープンの日を迎えました。



場所は神戸市西区大沢、関西青少年サナトリウムから徒歩で7、8分のところです。

建物は2階建て。1階、2階それぞれ5名の定員になります。

当法人ではこれまで7軒(定員31名)のグループホームを運営してきましたが、これで41名の方にグループホームをご利用いただけるようになりました。



運営の仕方について、「ホーム 一人ひとり」は既存のホームとは少し違うところがあります。

- ・夜勤を配置する24時間の支援体制をとります(既存のホームは24時間電話対応体制です)
- ・日曜、祝日の人員を増やし支援体制を強化します
- ・基本的にグループホームが必要な人は誰でも受け入れます
- ・2、3年での卒業を目指します

日中活動の場、訪問看護ともしっかり協力して、お一人お一人に合わせた個別支援を行って参ります。

「ホーム 一人ひとり」という名前には、ご本人も、周囲の支援者も、そこに暮らす一人ひとり、その人生を大切にできるグループホームにしたいという思いを込めました。

「だれでも地域で暮らせる」ということを実現していき、当院が使命に掲げる「精神医療の改革」に資する事業所にしていきたいと考えています。

既存のグループホームともども、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

(東峰会グループホーム副施設長 谷村)

北1病棟 改装工事状況のご報告

第1期エリアの改装が当初の予定通り8月中旬に終了し、新たに保護室（1床室）4部屋に生まれ変わりました。神戸市保健所の検査も無事終え、8月下旬から使用開始しています。今後始まる第2期エリアの工事では、4床室4部屋（計16床）を改装し、保護室（1床室）と個室（1床室）を計8室整備します。最終的に北1病棟では44床の病室となり、うち24床が保護室又は個室になります。保護室・個室を増やすことによって、患者さんの病状にあった治療環境を選択しやすくなり、より高い治療効果が得られるようになります。11月下旬ころには完成予定ですが、それまでの間、患者様や地域の医療機関の方にはご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いします。



OTミニバザー

2019.7.3

7月3日に夏のOTミニバザーを開催しました。遅い梅雨入りをしたばかりの時期で、少し早い夏祭りとなりましたが、スーパーボールすくいに射的、かき氷を用意しました。みなさん、童心に帰ってイベントを楽しんでいる姿が印象的でした。入院生活の中でも少し、夏らしさを感じて頂けたのではないのでしょうか。（OT：北池）



今回は、「地域生活を支える」をテーマに、当院のデイケア・グループホームについて、各スタッフからの紹介と併せて、利用者の方2名から体験談をお話ししてもらいました。

利用者からとったアンケート結果や動画も紹介され、デイケアやグループホームでの生活の様子がわかりやすく、様々な質問からは、実際の利用に対する関心の高さが感じられました。 (PSW：郷原)

★第3回家族教室のご案内★

テーマ：「地域生活を支える②就労支援」

講師：就労支援事業所 Small Steps スタッフ・利用者の方

日時：2019.9.14(土) 13:00～15:00

場所：当院作業療法棟 1階



医薬品安全研修会

2019.7.26

7月26日(金)に医薬品を安全に使用するための研修会を行いました。

今年の題目は「統合失調症と抗精神薬LAI(持効性注射剤)について」です。

ヤンセンファーマ株式会社の元山 智博氏にお話しして頂きました。

統合失調症の治療で重要なのは再発をしないようにすることです。

再発をすることで症状悪化、脳組織の消失、治療抵抗性の形成と機能レベルの低下を起こし再発率も高くなっていきます。

統合失調症の再発予防に重要と考えられる対策としてアドヒアランスの向上、心理社会的治療、デイケア・ナイトケアとともに持効性注射剤が挙げられます。

持効性注射(LAI)は統合失調症薬物治療ガイドラインにおいても推奨されておりエビデンスを示していただきました。

LAIを使うことのメリット

- ① 再発・再入院のリスクが低くなる
- ② 毎日の服薬の手間・ストレスから解放される
- ③ 服薬の管理・確認が必要なくなり看護師、ご家族の方との衝突が少なくなる
- ④ 怠薬、自己調整がすぐにわかるので悪化の原因が特定しやすくなる
- ⑤ 副作用が軽減する可能性がある
- ⑥ 併用薬の種類、量が減り服薬量が少なくてすむ

です。

LAIは具体的にはゼプリオンについて詳しく説明していただき、実際に行う手技についても教えていただきました。

必ず、内服薬で治療反応性及び忍容性を確認してからゼプリオン導入レジメンに沿って行います。

投与部位についても導入時は三角筋と決まっています。

投与部位によって効果に差が出てくることも教えていただき、正確に行う必要を感じました。

また、注射を行う際は確認事項も多く、それが患者さんとのコミュニケーションの時間となります。良好なコミュニケーションが治療継続に良い影響を与えるということも教えていただきました。

看護師以外のスタッフは手技は関係ないのですが、知っているとお話をする上でとても参考になりました。 (薬局：梅田)

夏祭り

デイケアの夏の風物詩、デイケア夏祭りの季節がやってきました！射的と輪投げのゲームでは、駄菓子参加賞つき。かき氷と焼き鳥も無料で提供しました。

何でも名人会では、今回は6組の参加がありました。歌をうたったり、ギターで弾き語ったり、コントを披露されたり…ルービックキューブを全面綺麗に揃えるという特技を見せてくれた方もいました！最後のビンゴ大会では、景品を狙ってみな



さん一生懸命に番号を聞きもらさないようにしていました。

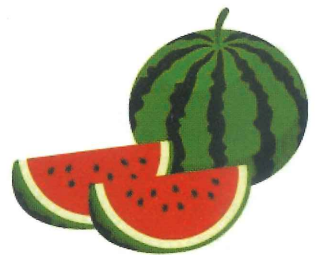
あわせて、ゆいの作品販売を実施！ディスプレイや販売員、後片づけとそれぞれが役割を持って参加してくださいました。新しく作っていた作品も好評で、購入して下さった方もいらっしゃいました♪

スイカ試食会

デイケア夏祭りと同じく、夏の風物詩となっているスイカ試食会！今年は8月16日に開催しました。季節の旬の物をみんなで味わって楽しもうと企画されています。毎年この時期になると、スタッフはどうやってスイカを切ったら、1番美味しいところをみんなに食べていただけるのか、試行錯誤しながらスイカの切り方をインターネットで検索しています（笑）

大きいスイカを切るのはなかなか大変な作業でしたが、みなさん喜んでくださったので、今年もやってよかったなあと思いました！

(DC：今津)



外来再診 担当医のご案内（9月）

診察時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 9:15 ～12:00	狩場 藤堂	鬼頭	内藤	瀬川 赤堀	佐伯	藤田
午後 13:00 ～16:50	朴 内藤 <small>※児童・思春期外来</small>	西村	岡本	瀬川 中井	頼 村尾	／

☆月曜日・木曜日の午前、金曜日の午後は2診制になります。

☆初診の方は原則としてその日の初診担当 Dr が診療にあたります。（曜日により常勤医をふりわけています）

☆月曜日午後の診察（朴医師）、水曜日午後の診察（岡本医師）、木曜日午前の診察（赤堀医師）、木曜日午後の診察（中井医師）は予約制です。

☆木曜日午後瀬川医師の診察は予約制（14：00～15：00）となります。※予約票が必要です。

☆※児童・思春期外来は毎週月曜日午後です。（担当：内藤医師、※完全予約制）

編集後記：今年の夏も暑い日が続きましたね。皆さん夏バテされていないですか？私は、夏バテ防止になるかは分かりませんが、暑いと冷たい飲み物や食べ物ばかりになるので、意識して温かい物を食べています。これからは、秋になると美味しいものが増えるので、食べ過ぎないように気を付けたいです。（広報委員：Y）